

# FAIRPLAY NEWS

フェアプレイで  
日本を元気に  
あきらめ、あきらめ、あきらめ



## キーパーナイス～二人をつないだ試合～

昨年度開催された「日本フェアプレイ大賞2014」で正々堂々賞を受賞した江本貴代さんの応募作品を漫画にしました。

1. 私が高校3年生の時——

2. 体育の授業でハンドボールの試合が行われた

3. あ、チーム強いね全勝よ

4. N子がいるからね

5. さすがバスケットボール部！運動神経いいよね

6. キーパーナイス！

7. そのN子のチームと私のチームが試合をすることになった

8. 体育の授業であっても絶対に負けたくない私だってバレーボール部でがんばってるんだ

9. 試合は0対0で終わった

10. 悔しいけど楽しかったわ

11. 私はゴールキーパーになりバレーボールのレシーブの感覚でN子のシュートを何度も止めた

12. 私も！ありがとう

その後、二人は別々の大学へと進み2年のある日、ばったりと出会う

私、今、ハンドボールやってるのよ！

えっ、ホントに!?

実は私もハンドボール部なんだ！

そうなんだ！

私たちがあの試合のことが忘れられず、二人とも大学でハンドボール部に入っていたのだ

お互い、頑張ろうね！

そして偶然は更に続く大学を卒業した二人は今、中学の教師として

体育の授業での試合だったけれど二人にとってはかけがえのない試合になった

あの日以来、二人はよき友であり、ライバル

それはこれからもずっと変わらないだろう

素敵な出会いをくれたあの試合に感謝でいっぱいだ

## オリンピックへの道

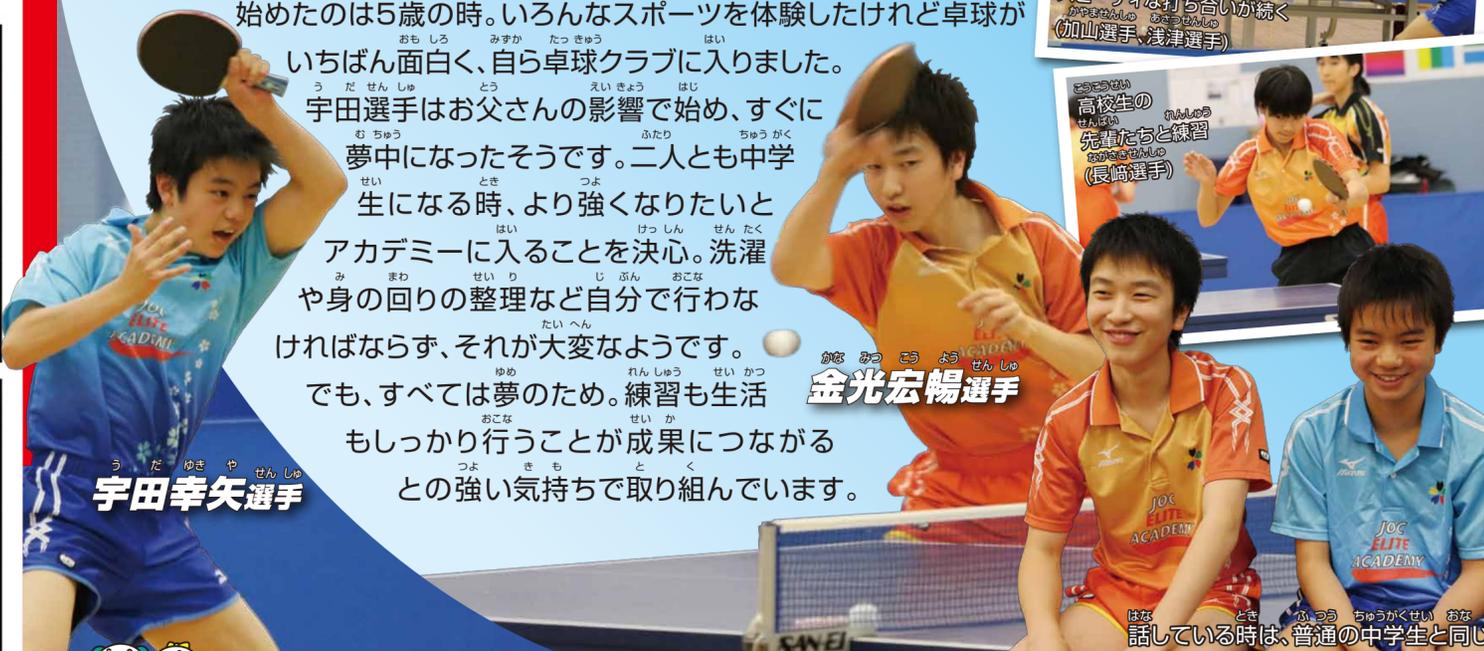
かな みつ こう よう せんしゅ う だ ゆき や せんしゅ  
金光宏暢選手 宇田幸矢選手

### 日本を代表する卓球選手になるために、 中学から親元を離れて JOCエリートアカデミーへ。

今回は、「JOCエリートアカデミー」に所属する卓球の金光宏暢選手(中学3年生)と宇田幸矢選手(中学2年生)に話を聞きました。金光選手が卓球を始めたのは5歳の時。いろんなスポーツを体験したけれど卓球がいちばん面白く、自ら卓球クラブに入りました。

宇田選手はお父さんの影響で始め、すぐに夢中になったそうです。二人とも中学生になる時、より強くなりたいとアカデミーに入ることを決心。洗濯や身の回りの整理など自分で行わなければならない、それが大変なようです。

でも、すべては夢のため。練習も生活もしっかり行うことが成果につながる。との強い気持ちで取り組んでいます。



JOCエリートアカデミーの中学生選手たち

スピーディーな打ち合いが続く(加山選手、浅津選手)

高校生の先輩たちと練習(長崎選手)

金光宏暢選手

宇田幸矢選手

話している時は、普通の中学生と同じ。

### あそびスポーツ研究所 足裏相撲

- 二人で向かい合います。
- 足の裏を合わせて、押しあったり、引いたりして相手のバランスをくずします。
- 立っている場所から動いたり、両足が着いたら負け。

さあ、やってみよう！

日本体育協会「アクティブ・チャイルド・プログラム」より

### フェアプレイ語録

「チャンスをどう自分のものに  
変えられるかっていうのは、  
それまでの過程がすごく大事。」

竹下佳江(元全日本女子バレーボール代表)

159cmとバレーボールでは非常に小柄な竹下選手。

小さいからこそできる技を磨き抜き、現役時代は「世界最小・最強セッター」と呼ばれていた。